

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	良くなる	通信会社（営業担当）	・新生活シーズンを迎え、需要が高まると想定している。
	やや良くなる	衣料品専門店（経営者）	・いよいよ1月にはバーゲンが始まる。ボーナスも良くなったという声もあり、単価の高いものが比較的売れている動きがあり、ある程度期待をしている。
		乗用車販売店（従業員）	・世間では景気についての明るいニュースが多くなったと思う。3月期決算に向けて、自動車の販売量増大に期待している。
		乗用車販売店（営業担当）	・1～3月にかけて春の最需要期を迎えるため、良くなるよう期待している。
		通信会社（企画）	・ここ数か月に比べて、顧客からの問い合わせが堅調なことから、やや良くなる。
		観光遊園地（職員）	・こここのところ客足がずっと伸びている。
	変わらない	商店街（代表者）	・来街客が増加しており、当面このまま推移すると予想する。再開発の話も具体的に進んでいるので、消費マインドが上昇して、この調子で進むだろう。
		商店街（事務局長）	・プレミアム付商品券の底上げ効果が後半は続いたが、年始からはその効果が無くなる。多くの人は景気回復の実感が湧いておらず、まだしばらくは生活防衛の消費行動が続く。
		商店街（代表者）	・不確定要素が多く、景気も不安定であり、原油価格の動向次第では再度デフレ傾向に陥る恐れがある。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・今のところ改善点が見当たらない。
		百貨店（販売促進担当）	・株価は高止まりを維持しているものの、主軸の衣料品の不振が継続しており、回復の手応えが感じられない。
		スーパー（店長）	・暖冬傾向が続いており、冬物商材の動きが悪い。また、生鮮食品の中に値上がりが続いているものがあり、景気回復は難しい。
		スーパー（財務担当）	・暖冬が続くと予想されるため。
		コンビニ（総務）	・特段の景気刺激策もなく、増税を見据えて消費動向はますます厳しくなると思う。
		コンビニ（商品担当）	・政治やニュースを見ていると良くなる印象が持てない状況である。
		衣料品専門店（経営者）	・企業の業績が良いので、当分このまま推移すると思われる。
		衣料品専門店（総務担当）	・暖冬傾向が続くとこの予報から、冬物シーズンの好転は見込みづらい。
		家電量販店（店員）	・今後も単価回復は難しく、景気が上向くとは思えない。
		乗用車販売店（従業員）	・自動車市場は対前年比で伸びており、商用車の伸びが大きい。特に、4t車以上のトラック、バス等は長期納車待ちとなっているようだが、当社への影響は少ない。
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売はやや好調だが、納期のかかる車種ばかりであり売れ上につながらない。中古車とサービス入庫は昨年より落ちている。
		乗用車販売店（役員）	・12月は好調に推移しており、この状況は3月まで続くと思われる。10月の既存車種のマイナーチェンジ、12月の新車種の投入があって、その効果はこれから半年は続くと考えている。
		住関連専門店（経営者）	・日経平均価格が上下し、今現在はまた少し悪くなっており、一進一退が今後も続くと思われ、なかなか先が読めないような状態が続くだろう。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・良くなる要素が見当たらない。
		観光型旅館（経営者）	・1～3月の予約状況は、今とあまり変わらない。1～2月に予定している設備の改修が売上に多少影響するだろうが、景気は変わらないと予想している。
		通信会社（営業担当）	・本来なら新生活の最大商戦期に入るが、政府の政策により不透明感が広がっている。
		通信会社（支店長）	・中国景気の減速、米国の利上げに伴う株価や為替動向が不透明といったマイナス面と、原油安によるプラス面がある。
		ゴルフ場（従業員）	・現状は伸びているが、昨年と同様にやや数字が落ちてきたこともあって、あまり変動が無いと予想する。
		競艇場（職員）	・1月は正月レースが開催され、2月は各地区の地区選手権競走が開催される。有力選手や期待選手の活躍が売上増加につながり、また、女子レースの場外発売を多くして売上増加を見込んでいる。
		美容室（経営者）	・特に何も変わらない。

	美容室（経営者）	・まだまだ地方の景気回復の兆しは一部にしか見られていない。	
	設計事務所（所長）	・築40年程度の建物の更新が始まっており、しばらく続くと思われる。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・中国の景気後退、アメリカの利上げによる影響、株価の停滞等の不安定要素があるため、少し景気が悪くなる様に思われる。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・地方市場の仕入価格が少しずつ上がり、入荷量が減ってきている。暖冬の影響や生産農家の減少が考えられる。小売価格値上げにつながるのではと心配している。	
	一般小売店〔乾物〕（店員）	・特になし。	
	百貨店（営業担当）	・来店客の消費動向が変わらず、先行きが見えない。	
	コンビニ（店長）	・単価が下がっており、上向く材料がない。通常12月は後半持ち直すものだが今年はそれもない状況である。	
	衣料品専門店（経営者）	・年末は来客数、販売量共に上昇しなければいけないが、暖冬の影響もあり、良くもなく悪くもない状況が続いている。前年に比べると悪化している。年が明けると客が少なくなり、向こう3か月以降の景気はなかなか厳しくなると予想する。	
	一般レストラン（経営者）	・大企業の株価の上昇に伴って、消費の拡大を期待していたが、期待外れに終わった。財布には大きな鍵がかかっているように感じる。	
	都市型ホテル（経営者）	・国内の宿泊の動きが非常に悪く、予約状況はあまり良くない。それに加えて、忘年会シーズンが終わり通常月になると宴会が減ることもマイナス要因のひとつである。	
	旅行代理店（支店長）	・テロ事件の影響が当分続く予想され、海外旅行需要は回復の兆しが見えない。	
		タクシー運転手	・県内の利用者からは、給料が上昇していない、年収も上昇していないという声がある。高知県内、市内客からは良い状況であるという話がなかったため、12月に比べると景気は悪くなると予想する。
悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気が良くなる要素がない。	
	コンビニ（店長）	・12月の繁忙期に、賞与、クリスマスがあったが、回復といえる状況になく、今後の動向にも懸念あり。	
	タクシー運転手	・新年会もほぼ無く、昼間は乗車する人がいない。寒くなれば多少は変わるかもしれないが、お遍路が始まる3月頃までは例年、売上がガタッと落ちる。	
企業動向関連 (四国)	良くなる	-	
	やや良くなる	食料品製造業（商品統括）	・人手不足の連鎖状態が止まっていない状況のなか、給与への反映は継続され、徐々にではあるが上がっている。
		電気機械器具製造業（経理）	・得意先からの受注増を見込んでおり、収益に関しても販売増加に伴う増益を想定している。ただし、年度末の季節要因を考慮すると、それらの伸びは限定的なものと判断している。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	・年末年始は、例年より青果物の価格基調は安定と予測するが、店頭売価が高めに推移すると売行きへの影響が懸念される。
		食料品製造業（経営者）	・食品業界では原材料のコストダウンが見込めない。
		木材木製品製造業	・2017年4月に消費税が10%に増税されるまでは月次毎のバラつきはあるにせよ、この調子が継続すると見込んでいる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・海外環境に不透明感が増しており、需要等に注意が必要である。
		建設会社（経理担当）	・公共工事は少し増えているが、民間工事の受注競争が激化する気配があり、大きな変動はないと予想する。
		建設業（経営者）	・手持ち業務の処理は年度末までかかることから、売上は大きな変動なく推移すると見込んでいる。ただし、新年度においては、補正予算に期待出来ないことから、手持ち量が大きく減少して、厳しい状況になるのではと懸念している。
		建設業（経営者）	・補正予算成立後の公共事業の発注具合による。
		輸送業（経営者）	・このまま推移すると思うが、国の借金返済が民間感覚からずれているため、不安が有り変わらないと思う。
		輸送業（営業）	・小口積合せ貨物、貸切り貨物共に初荷の受託が低迷しており、1月の物量増加も期待薄であり、景気の悪化を強く感じる。年度末で繁忙期となる3月は、就学、就職の引越し時期とも重なり運送が集中する事から、車両不足が深刻化し、荷主の商流に影響を与えるとともに運賃の著しい高騰を招くと予想する。
		通信業（部長）	・年末の受注から考えると今後も大きく変わる要素は無い。

		<p>通信業（総務担当） 金融業（副支店長）</p> <p>広告代理店（経営者）</p> <p>公認会計士</p>	<p>・景気の回復及び悪化等の要素が見つからない。</p> <p>・足元の資金需要はやや上向いた感があったが、スポット的な短期資金需要が中心であり、設備投資などの長期資金需要動向にはまだ大きな変化は感じられない。</p> <p>・年度末に向けての期待感はあるが、多くの得意先情報では地方の消費低迷は依然として続いているため、販促費等も削減傾向にあり、景気はあまり変わらない見込み。</p> <p>・道後地区においては、インバウンド効果等を受けて設備投資を前向きに考えている経営者もいるが、大半は消極的である。これは、将来の消費税増税が影響の一つであろう。</p>
	やや悪くなる	<p>パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）</p> <p>鉄鋼業（総務部長）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>輸送業（支店長）</p>	<p>・1～2月は季節要因で売上が落ちるが、受注状況を見ると、例年よりは良くなるだろう。</p> <p>・現状と同様の状況が続く。</p> <p>・我々の業界だけを見ると、悪くなると予想している。</p> <p>・原油を巡る各国の思惑や中国経済の減速、利上げによる米国の今後の動向などの懸念材料があり、以前のように国内物流だけでは判断できなくなってきた。</p>
	悪くなる	<p>繊維工業（経営者）</p>	<p>・今治市の大手タオルメーカーが「今治タオル」のロゴマークを不正使用していたことが報道され、今治タオルの信頼が失われた。既に慶事やイベントでの記念品の発注が無くなっており、今後相当な影響が出てくるだろう。</p>
雇用 関連  (四国)	良くなる	<p>求人情報誌製作会社（従業員）</p>	<p>・毎年明けは求人数が増加する傾向にあり、今年も同じ動きになると見込める。</p>
	やや良くなる	<p>人材派遣会社（営業担当）</p> <p>職業安定所</p> <p>学校〔大学〕（就職担当）</p>	<p>・年度変わりの時期を見据えて人材確保のニーズが、より高まると見込まれる。</p> <p>・11月の有効求人倍率は1.35倍となり、前月比では0.11ポイント、前年同月比で0.23ポイントそれぞれ上昇した。今後、やや良くなると思われる。</p> <p>・求人数、企業の規模等でみる限り、現在の状態が持続すると考えられる。</p>
	変わらない	<p>人材派遣会社（営業担当）</p> <p>新聞社〔求人広告〕（担当者）</p> <p>職業安定所（職員）</p>	<p>・求職者は正社員雇用を望む傾向にあるが、企業は派遣社員を求人し、派遣社員の求人数は増加しつつある。求職者の数が減少しているため、今後の景気は変わらないと感じる。</p> <p>・無理して消費に回す消費者はいなくなった。賃金は増えておらず、ここ20年間にわたり地方は好景気に沸くこともなく身分相応の生活が根付いている。ただしガソリンの値下がりにはマインド的には好材料なので、悪くなることはないだろう。</p> <p>・就職した者からも将来への不安の声があり、安心感がない。</p>
	やや悪くなる	<p>求人情報誌（営業）</p>	<p>・大手にパート、アルバイト人材を引き抜かれた地元資本の流通業者や飲食業者の人手不足を解消する策が見当たらないため、引き続き深刻な人手不足が続く。</p>
	悪くなる	-	-